

町内初コミュニティ・スクール誕生

学校運営協議会＋学校支援ボランティア

コミュニティ・スクール

きめ細かい学校の運営を行うため、地域の人たちに積極的にかかわってもらい、運営の一部を地域の人たちに担ってもらう学校のことを『コミュニティ・スクール』といいます。

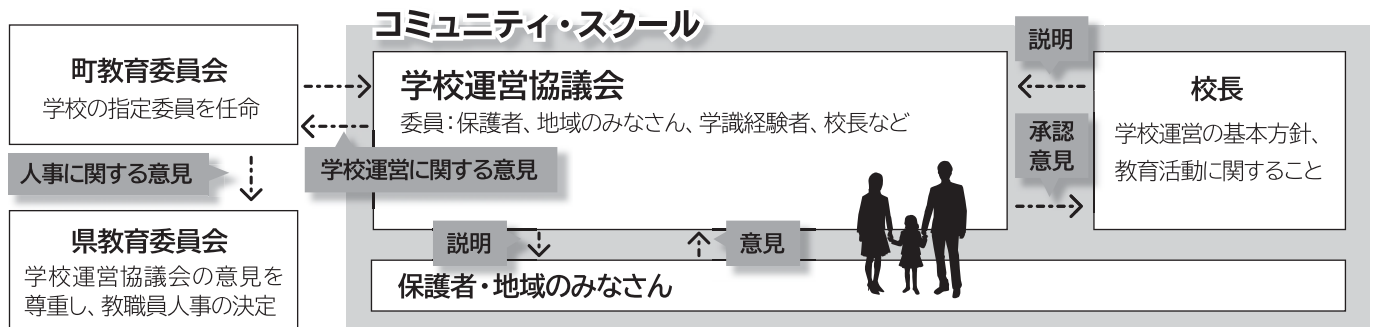
文部科学省が平成16年から始めたこの取り組みに、町内で初めて益城中央小学校が選ばれました。

平成24年4月1日現在、全国で1,183校がコミュニティ・スクールに指定されています。指定学校には学校運営協議会が設置され「学校運営に関して教育委員会や校長に意見を述べること」、「校長が作成した方針などを承認すること」、「学校の教職員の任用に関して意見を述べること」などを行うことができます。

この学校運営協議会と学校支援ボランティアの2つを柱として地域の力を取り込んだ学校(＝コミュニティ・スクール)を目指します。



コミュニティ・スクールのイメージ



本校では永年、コミュニティ・スクールの取り組みを通し、地域との連携を推進してきました。現在では、地域の「ひと・もの・こと」とかわり合う活動が日常的に行われ、学習・生活の両面で次のような成果を上げています。

- 子どもたちの地域での様子を聞くことができる機会が増えた。
- ボランティアのみなさんの「認め・褒め・励まし」の支援のおかげで、子どもたちも落ち着いて授業に参加できるようになった。
- 習字、珠算、ソーイング、水泳、発表など、学習における技能向上が確実に図られるようになった。

今後、より「開かれた学校」として地域と共に発展していくためにはコミュニティ・スクール事業のさらなる推進が欠かせません。保護者や地域のみなさんの声を真摯に受け止め、最大限に学校経営に活かす取り組みを行っていきたいと考えています。

保護者や地域のみなさんには今後とも、学校へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「地域に開かれた学校」に



益城中央小学校
ひろせ せいじろう
廣瀬誠一郎 校長